



東京全労協

2020年6月30日 122
東京都港区新橋4-21-7
つるや加藤ビル4階B
TEL. 03-5403-1650
FAX. 03-5403-1653
発行人 大森 進
定価 1部 10円

6・6米軍横田基地反対集会に 100人の仲間が結集!!

6月6日、新型コロナウイルスが蔓延する中、自衛隊の規制を振り払いながら、米軍横田基地の機能強化とオスプレイ配備、自衛隊のオスプレイ配備に反対する取り組みとして、行動を取り組んできました。

基地撤去こそが唯一の解決策であることと、首都圏と沖縄をつなぐ連帯運動の強化をする闘いとして位置付けた集会・デモに、実行委員会の呼びかけに答えて100人の仲間が福生公園に結集して闘われました。集会は寺嶋事務局長の司

会が始まり、主催者挨拶で大森実行委員長は、自衛隊の流れに抗して闘いを行う意義と、地元での基地被害や断固とした基地撤去の要求と反戦・平和の継続した闘いの重要性を述べました。

連帯挨拶では、第9次公害訴訟原告団の福本団長、沖縄一坪反戦地主会関東支部の口ツクの大仲さん、有事立法・治安弾圧を許すな！北部集行委員会の池田さん、立川自衛隊監視テント村の大洞さん、米軍基地撤去を求める西多摩の会の鶴田さん等から基地被害状況

や闘いの報告と決意が報告されました。連帯メッセージでは、「あたごやま平和研究所」代表田村純玄さん、「オスプレイ来るな いらない住民の会」会長吉田勇悟さん（千葉県木更津）、からの紹介がされ、労組からの決意表明では、東京全労協渡辺事務局長次長・全国一般東京労働組合・松永書記次長が力強い決意を訴えました。

集會参加者全員で決意文を採択してデモ行進に出発し、基地撤去・オスプレイ配備反対・米軍の事件事故



6月6日、福生公園から米軍横田基地に向けて抗議と要請のデモ行進

糾弾を訴え、航空自衛隊横田基地司令宛の要請書は代理2名の自衛官らに読み上げて手渡し、第2ゲート前では福生警察署がデモ行進に対して不当に介入してきたため、抗議のシュプレヒコールで跳ね返しました。福生駅付近の公園までデモ行進を貫徹し、基地撤去、沖縄との連帯を全体で確認して、団結頑張ろうで集会デモを終えました。

また、沖縄辺野古新基地建設では4月21日、辺野古沖・大浦湾の公有水面の埋立変更計画が沖縄県に提出され、安倍政権はあくまで辺野古新基地建設を強行する意思を明らかにした。この計画変更申請は、軟弱地盤といわれる海域の地盤改良工事であり工期や工事費など大きな問題を抱えており、国の試算でも工期は13年、工事費は9300億円と膨れ上がり、その建設工事費は私たちが働くもの、市民が納めた税金で賄われ結果として私たちが辺野古新基地建設に加担したことを意味する。

また、沖縄の北谷浄水場から発がん性が指摘される有機フッ素化合物（PFOS・PFOA）などの有害物質が検出され、4月10日には普天間飛行場からPFOSを含む大量の泡消火剤が基地外の住宅街や河川に流出した。

今、世界中が新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向け、医療関係者や行政、労働者・市民が国境の枠を越えて、ウイルスとの闘いに挑んでいる。

この新型コロナウイルス感染症は、全世界の貧困と格差を改めてあらわにし、世界経済は低迷を続け働くことさえ許されない状況となり、生きる権利さえ奪われようとしている。一方で米中は、新型ウイルスが細菌戦争であると主張して煽りたて、軍事的緊張はこの状況下でも高まり続けている。

東京においても横田基地周辺の井戸から同様の有機フッ素化合物が検出されている。米軍基地が存在することにより発生する事件・事故、市民生活への脅威が続いている。沖縄の闘いと横田の闘いを全国の軍事基地に反対する仲間と取り組むことが求められている。

安倍政権が4月7日、不要不急の外出を自粛することを求めるなか、陸上自衛隊が購入したオスプレイ2機が米軍岩国基地に陸揚げされ、岩国基地での機体整備と飛行訓練を実施した後、6月下旬以降に自衛隊木更津駐屯地に配備される予定である。

また、沖縄辺野古新基地建設では4月21日、辺野古沖・大浦湾の公有水面の埋立変更計画が沖縄県に提出され、安倍政権はあくまで辺野古新基地建設を強行する意思を明らかにした。この計画変更申請は、軟弱地盤といわれる海域の地盤改良工事であり工期や工事費など大きな問題を抱えており、国の試算でも工期は13年、工事費は9300億円と膨れ上がり、その建設工事費は私たちが働くもの、市民が納めた税金で賄われ結果として私たちが辺野古新基地建設に加担したことを意味する。

私たちは、首都東京の闘いとして武力行使・戦争政策に反対し、辺野古新基地建設阻止、オスプレイ配備反対で沖縄と連帯し、全国の労働者・市民と共に在日米軍横田基地をはじめとする、すべての軍事基地の撤去と安倍政権打倒まで闘っていく。

佐賀空港へ配備する計画

また、沖縄辺野古新基地建設では4月21日、辺野古沖・大浦湾の公有水面の埋立変更計画が沖縄県に提出され、安倍政権はあくまで辺野古新基地建設を強行する意思を明らかにした。この計画変更申請は、軟弱地盤といわれる海域の地盤改良工事であり工期や工事費など大きな問題を抱えており、国の試算でも工期は13年、工事費は9300億円と膨れ上がり、その建設工事費は私たちが働くもの、市民が納めた税金で賄われ結果として私たちが辺野古新基地建設に加担したことを意味する。

以上、決議する。
2020年6月6日
米軍横田基地反対・オスプレイ配備反対 集会・デモ参加者一同

未払い賃金を支払え！

商業界会館は (株)商業界倒産の 責任をとれ！

全国一般なんぶを半世紀以上に渡って支えてきた分會が組織されている出版社・商業界が本年3月31日に全従業員を解雇し、4月2日には東京地裁に破産申請した。分會は未払い賃金(主に退職金)の支払いを求めて事実上の親会社である(株)商業界会館や破産管財人と交渉を続けている。

6月の第4週に3日間の社前座り込み行動が展開された。

初日(22日)は梅雨らしくしつこい雨が降り続き、時折土砂降りとなったが、用意していたビラ50枚がすべてはけた。以下がそのビラの内容です。東京全労協の仲間も多く駆けつけてくれました。ありがとうございます。

親会社の(株)商業界会館は退職金を払うために最善を尽くせ！

わたしたちは商業界会館(港区麻布台2-4-9)に入居する出版社である(株)商業界で働く従業員で構成する労働組合です。

2020年3月31日、(株)商業界の破産により、全従業員が解雇されました。突然の破産、解雇通告で生計の途を断たれ、コロナ禍の中で求職活動もままならず、苦境を強いられています。退職金も未払いのまま、現在のみならず将来の生活にも展望を持たず、不安は募るばかりです。



親会社の(株)商業界とは、財務面でも経営理念においても、不即不離・一心同体の関係にありました。創業者の倉本長治主幹が唱えた「店は客のためにあり、店員とともに栄えよ」という理念を共有し、(株)商業界への融資も行い共存共栄を追求してきたのです。

現在、破産管財人からは、未払い賃金について、「ほとんど支払うことはできない」と報告を受けています。そうした中、わたしたちの未払い賃金を確保するには、親会社の(株)商業界会館が、子会社の従業員のため、最善の努力をするしかないと考えます。それが共有の経営理念の下で働いてきた従業員に対する、親会社としての使命・社会的責任ではないでしょうか。

わたしたちは未払い賃金確保のためにがんばります。みなさまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



2020年6月20日、第42次成田空港就労要求行動を行いました。

コロナの影響で4か月自粛し、成田空港公園からは何度も中止を促す電話がある中で成田行動で、正直少し不安でしたが、50名以上の方が遠方にも関わらず支援に駆けつけてくださり本当にありがたかったです。

お客様も空港スタッフもあまりいない中での行動でどうしたらいいかわからず、誰に向けたメッセージなのか自分でもわからないけれど、とにかく声を出して訴えました。これからの運動

第42次成田空港 就労要求行動

への私たちの新たな思いが会社、支援者に伝わった力強い行動となり、何より自分達が励まされました。コロナで闘いも裁判もすべてが止まってしまっていたけれど、この成田行動を皮切りに自信を持って職場復帰を目指した闘いを再開したいと思えます。

当日の動画・写真は私たちのフェイスブック(Cosmeto-United Naria Faの解雇撤回!)でご覧になれます。いいね!ボタンでのご支援やフォローをどうぞよろしくお願いいたします!

JAL本社前 アピール行動90回目

緊急事態宣言を受け、自粛していたJAL本社前アピール行動は6月23日から再開しました。

この日は丁度90回目、通行人は少ないですが、対策をとりながら元気にアピール行動を実施。

コロナ禍の状況の中で、JAL経営は早々に「雇用は守る」と言っていますが、職場では不安が渦巻いています。10年前の経営破綻の中、「解雇はしない。」と労組に説明したにも拘わらず、解雇回避策をせず、19日の株主総会では、65名のパイロットと客室乗務員を解雇した事実があるからです。

株主に無配当、過去に1万6千名をリストラして、今回は支援を受ける立場で、社員の減俸をしていながら役員だけ報酬が4億3500万円になっている。5%のカットをしなければ動議する。などの発言がありました。雇用不安なく安心して働くことができるようになるためにも、争議を解決すべきと訴えました。

